

平成30年度 決算審査 前年度比2.0%減

一般会計

103億円の使い道は!

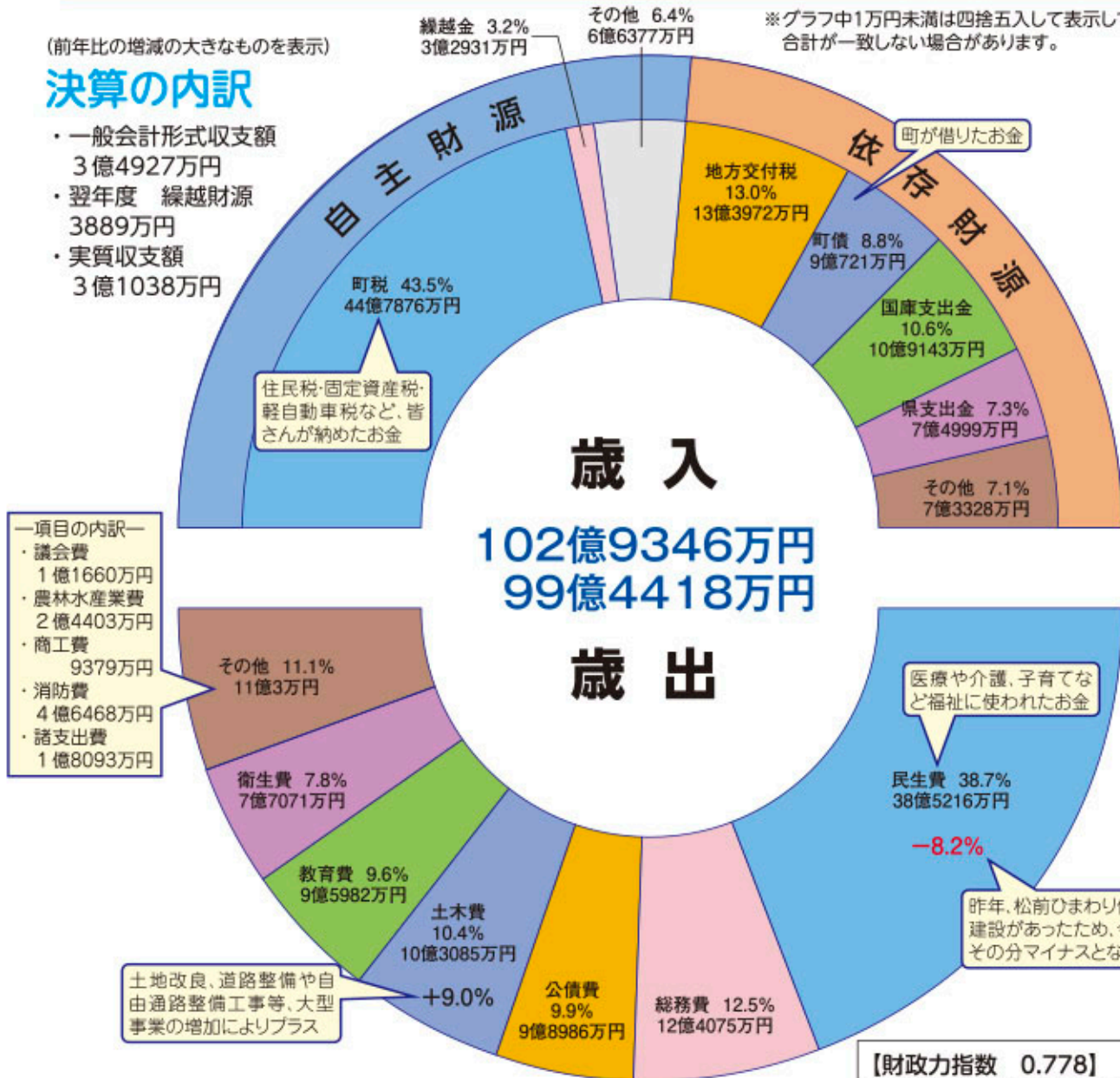
(前年比の増減の大きなものを表示)

決算の内訳

- ・一般会計形式収支額
3億4927万円
- ・翌年度 繰越財源
3889万円
- ・実質収支額
3億1038万円

繰越金 3.2%
3億2931万円その他 6.4%
6億6377万円

※グラフ中1万円未満は四捨五入して表示しているため、合計が一致しない場合があります。



そのほか会計別決算状況

会計名	歳入	歳出
国民健康保険特別会計	35億8845万円	32億5452万円
後期高齢者医療特別会計	4億6548万円	4億4849万円
介護保険特別会計	28億8087万円	27億9332万円
公共下水道事業特別会計	6億2336万円	6億1175万円
水道事業会計	収入	支出
収益的 収入・支出	4億4841万円	4億4557万円
資本的 収入・支出	1億 422万円	2億5514万円

【財政力指数 0.778】

指数が1に近いほど自主財源の割合が高い。昨年度より若干の改善。

【経常収支比率 87.5%】

財政の弾力性を示す指標。低いほど政策に使える財源が多い。前年度に比べ2ポイント改善したが、依然高い水準で推移。

【実質公債費比率 9.0%】

町の年間収入に対する地方債の償還額の割合を示す数字で、前年度に比べて0.1ポイント改善し、健全な状況と言える。

